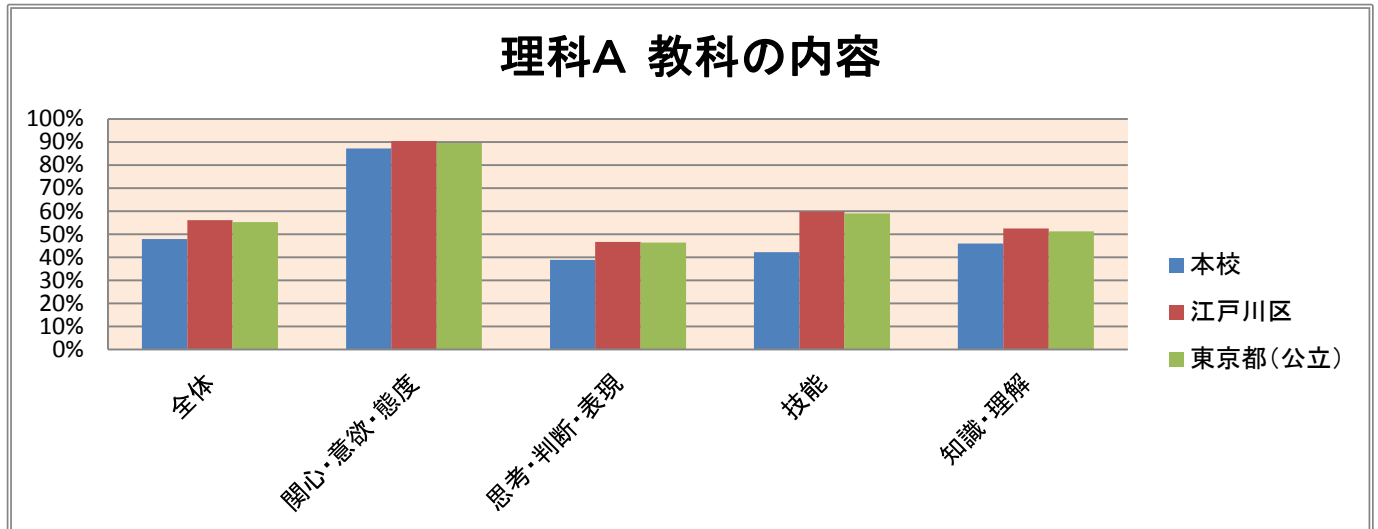


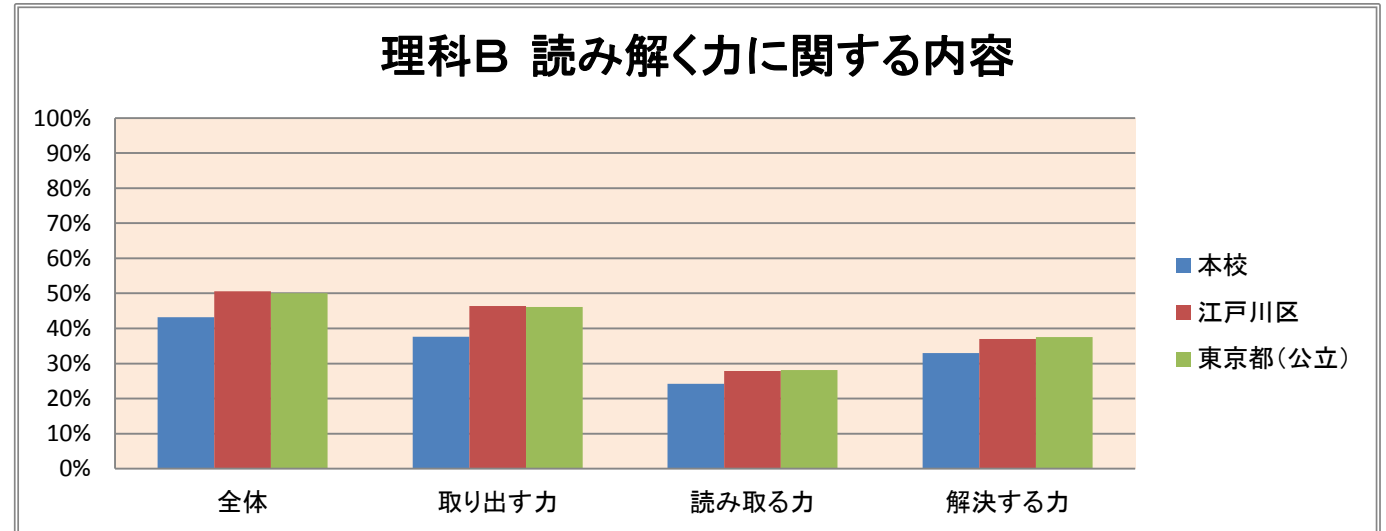
1. 分類ごとの平均正答率

(1)理科A:教科の内容



・すべての観点について、東京都の平均を下回っている。特に「技能」が16.8ポイント下回っていることが際立っている。生徒の実験や実習に積極的に取り組ませ、「技能」の向上を図ることが必至。

(2)理科B:読み解く力に関する内容



・すべての項目が、東京都平均正答率を下回っている。
 今後は、科学的思考能力を伸ばすために、実験・実習あとの考察・発表を十分に行い、言語活動の充実を図って

2. 今後の生活に活かすポイント (正答率が低かった問題)

- | | |
|--|-----------|
| 1 ルーペを使った観察の方法を理解する。 | 正答率:35.8% |
| 5 実験を行うときの条件の整え方を理解すること。 | 正答率:22.9% |
| 7 物質が水に溶けるときの溶け方について理解すること。 | 正答率:16.5% |
| 8 質量パーセント濃度の計算方法について理解すること。 | 正答率:23.9% |
| 9 水の温度によって物が溶けることができる限界の量がどのように変化するかについて理解すること。 | 正答率:33.9% |
| 10 ガスバーナーの使い方と各部の名称、役割を理解すること。 | 正答率:23.9% |
| 12 液体の混合物は蒸留によって分けることができる理由を理解すること。 | 正答率:38.5% |
| 14 示準化石で、地層が堆積した当時の年代を推測できる理由を理解すること。 | 正答率:33.9% |
| 16 火山灰に含まれている鉱物の種類と色の関係、鉱物の種類と火山の形の関係について理解すること。 | 正答率:40.4% |
| 17 マグマのねばりけの強さと噴火の様子との関係を、火山の形で関連づけること。 | 正答率:22.9% |

- 19 凸レンズを通った光が、どのように屈折して、どのように像が結ばれるのかについて理解する 正答率:33.0%
- 20 同じ大きさの質量でも、温度によって体積が変化することを理解すること。 正答率33.0%
- 21 密度の単位についての関係や、見z都度の計算方法について理解すること。 正答率:11.0%
- 22 密度の大きさの違いによって、密度が小さい方が浮くことを理解すること。 正答率:27.5%
- 23 密度の大きさの比較は、体積と質量から求めることができることを理解する。 正答率:27.5%
- 24 地震計の記録から、初期微動継続時間が分かることを理解すること。 正答率:42.2%
- 25 自身は震源に近いほど、揺れ始めの時刻が速くなることを理解すること。 正答率:33.9%
- 26 地震の伝わり方は同心円状に広がることを理解すること。 正答率:38.5%

正答率が50%に満たないものを挙げた。26年度と比較すると、項目数が増えている。

い<。

